

# 高速道路体験バスツアー 2012

9月15日



今年で4回目となった高速道路体験バスツアー（しりべしに高速道路を実現する会が主催）。後志の小中学生約80名が参加しました。

ツアーでは、高速道路の工事現場を見ることで、高速道路がどのように作られるのかを学び、一般道路と高速道路をそれぞれ

走行し、時間を比較することでさまざまな可能性を考える取り組みも行っています。

今回は朝里から余市に建設される高速道路の仮設橋を歩いて見学しました。

時間比較では、札幌西1C～朝里までの一般道と高速道路を比較し、時間の違いを感じるものでした。



開館時間は9時～17時（入館は16時半）

●9月の休館日● 1～3(展示替)、9、16、23、30日

## 展覧会のお知らせ

### 常設展

「小川原脩 自伝風な展覧会—定番作品展—」開催中

70数年に及ぶ小川原脩の画業の中で、その時期ごとに変容し続ける作品群。20歳代から70歳代まで、それぞれの時期の代表的な作品を展示した展覧会です。

会期：10月4日（木）～11月18日（日）

### 企画展

「北口さつき・高橋靖子・宮崎むつ 三人展—線を紡いで—」

北海道内で地道に、個性ある創作活動を行っている女性作家北口さつき・高橋靖子・宮崎むつ各氏の自在に変化する点と線、緻密な線が醸し出すまるで宇宙のような奥行きを感じ取ることができる多彩な作品による展覧会です。

会期：10月4日（木）～11月18日（日）

## ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎21-4141 FAX 21-4142

URL [www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp](http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp)

俱知安風土館

☎22-6631 FAX 22-6632

URL [www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/huudokan/huudokan.jsp](http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/huudokan/huudokan.jsp)

木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

没後50年特別展示

「児島善三郎と木田金次郎 1893 - 1962」

「私のまちの山岸正巳展」開催中

西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

風景との対話—北海道、パリ、札幌—

10月18日（木）から開催

山岸正巳展「山岸正巳—絵と、ことばと」開催中

「K・U・DAY ハロウィン」終日

開館13年記念コンサート 18時から

いずれも10月27日（土）開催

荒井記念美術館 ☎ 0135-63-1111

「時代を創る手」開催中

海と山と田園と—ミュージアムロード情報—

## 町長室から

10月に入り、冷え込む季節となりました。

9月は例年より残暑が厳しく感じられましたが、朝夕はさすがに気温も下がり、澄み切った空気に羊蹄山、ニセコの山々がくつきりと映えています。先日、全町敬老会も無事に行われ、お元気な皆さんの顔を拝見し、楽しいひとときとなりました。

これから、秋の行楽シーズンの運行も始まっていますし、山々も色付き始め、登山者や温泉巡り、美術館・風土館などへ多くの観光客が訪れることと思います。どうか、遠来のお客様に「ご苦労様です、いらつしゃいませ」と、来ていただいたお礼の声を掛けてください。

なお、日没も早まっておりますので、交通事故にはくれぐれもお気を付けてくださるようお願いいたします。

福島世二

### 絵本館 10～18時 (水曜休館)

**『月の物語』**

昔、ヨーロッパでは月の光を浴びると気が変わると言われていたそうです。日本とはちよつと違う感じ方でしょうか。でも今は世界中に月様の本がありますよ。たとえ月に人間が降り立っても月の神秘性は変わらないようです。

絵本館おはなし会 こびとの森  
10月27日(土) 11時  
大型絵本「はらへこあおむし」  
エフロンシアマー  
「三びきのやぎのらがらがらごん」  
OHP 「八郎」

---

**『きらいきらい』**

みなさんは「きらい」なものがありますか？注射がきらいな理由はなんとなくわかるけどアイスクリームがきらいな理由はなんでしよう!!いろいろなキラライの理由があるようです。

10月30日(火) 図書整理のため休館

今月のイチ押し絵本!

### 公民館3階図書室 10～18時 (月曜休館)

**『アライバル』**  
ショーン・タン

全くと静けさの中、その世界は展開していきます。一組の移民の家族の物語を、文章を全く使わず、モノトーンの緻密な絵だけで表現した本です。世界各国で絶賛された文字のない絵本。秋の夜長、その不思議な世界を堪能してみませんか？

**今月の新着**

光園伝 沖方 丁  
ソロモンの偽証 第1部 事件 宮部 みゆき  
虚像の道化師 ガリレオ 7 東野 圭吾  
解 堂場 瞬一  
お友だちからお願いします 三浦 しをん  
カラマゾフの妹 高野 史緒  
赤猫異聞 浅田 次郎  
その暁のぬるさ 鹿島田 真希  
明日のことは知らず 宇江佐 真理  
道警刑事サタの事件簿 菊池 貞幸

10月25日(木) 図書整理のため休室

## ●今が旬の果物は適度に食べて楽しみましょう●

1日の果物摂取量のめやす

りんご	バナナ	柿	オレンジ	グレープフルーツ	キウイ
			 <small>※作り方は下記参照</small>		
1 / 2 個	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個半

※2種類の果物を食べたい場合はバナナ1/2本と柿1/2個など組み合わせて食べると良いですね。

◎ハロウィンカップ◎  
①オレンジの上を少し切り、中身をくりぬく  
②ペンで皮にくりぬきたい顔を書き、果物ナイフでくりぬく。  
好きな果物を組み合わせて、カップをお皿にしても楽しいですね♪  
<1人分>  
エネルギー 約80kcal

夏も終わり、肌寒い日が多くなってきました。秋と言えば梨、柿など果物のおいしい季節ですね。果物はヘルシーで食物繊維もたっぷり、ビタミンも入っていていくら食べても大丈夫！と思われがちですが、糖分が多いので、食べすぎは肥満や糖尿病の原因になります。  
一昔前に朝バナナダイエットが流行しましたが、お腹が空いた状態で果物を食べると、血糖値が急上昇してしまい、体に負担がかかります。果物を食べるなら食後すぐに食べるとよいですね。夕食後は寝るだけで体を動かさないで、できれば朝食後か昼食後がおすすです。  
栄養士 小屋畑麻未

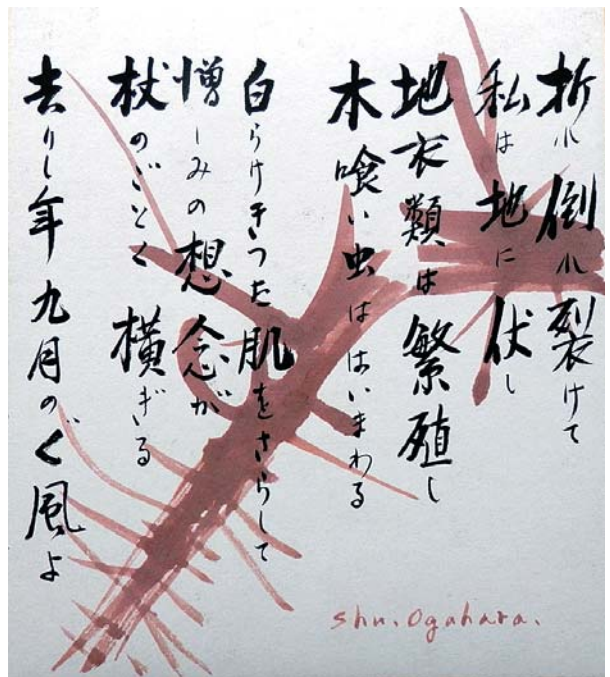
-15-

# 感動一点の場

## 『風倒木地帯』

1955年 小川原 脩画

1954年9月26日、日本海を北上中の台風15号はその速度を弱め、その勢力は異常なまで発達していた。北海道西岸に接近した頃には956ミリバール（当時の数値表示）に達し、寿都町では瞬間最大風速およそ52mを記録した。函館では青函連絡船洞爺丸が横転沈没、岩内では3,300戸が焼失してしまった。台風による暴風は支笏湖周辺や層雲峡、さらには網走地方の山林の樹木をなぎ倒し、開拓以来その姿を保ってきた原始林は風倒木として無残な姿に変容していた。小川原は当時の営林署からの依頼を受けて、1955年に上川や網走地方の風倒木の状況をつぶさに観察し、それらを作品として残した。この色紙もそのひとつである。惨状の姿に声を失った小川原は、思いのたけを散文に認めた。



# ふるさと探訪

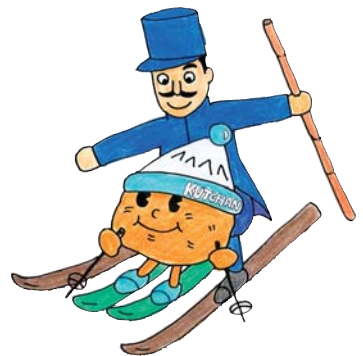
## あの時代 この時代

その40 『冬の国体』 昭和10年代～30年代

355回



◀ 第25回国体スキー競技会距離競技



今年はスキー伝来100周年

「あなたが主役、倶知安国体」—このキャッチフレーズのもと、第25回国民体育大会冬季大会スキー競技会が昭和45年2月18日から22日までの5日間、記録的な大雪の中、比羅夫スキー場と旭ヶ丘スキー場周辺で開かれました。倶知安町初めてのスキー国体でした。昭和41年3月の定例議会でスキー国体の誘致を決議してから、開催年度までは国体を前面に打ち出したインフラの整備はまちづくり事業と云ってもよいものでした。大会には選手、役員、報道関係を含めて2,500名以上の関係者が倶知安町を訪れました。その大半が期間中の滞在となり、倶知安町内だけの宿泊施設では収容できなくなり、ニセコ町、蘭越町、京極町などの宿泊施設で賄ったそうです。今では考えられないことでした。そして2度目の国体スキー大会「えぞふじ国体」が、昭和61年2月20日から5日間開催され、前回の国体とは比べものにならないほど対応の良さが大評判となりました。